

福武ハウス—アジア・アート・プラットフォーム2019 パフォーマンスイベント「デジャヴー—生きている遺産」 小豆島・福田に現れるアジアの屋台と雑踏 一夜限りの熱気あふれるパフォーマンス

「福武ハウス」（小豆島町福田地区、香川県）では、小豆島のひとつの集落を通してアジア諸地域がつながるプロジェクト「アジア・アート・プラットフォーム」の取組のひとつとして、パフォーマンスイベント「デジャヴー—生きている遺産」を開催します。

過去代々に伝わる知恵や古き美学、自然に対する感性は消えつつあり、過去の現れである「遺産」は博物館に「保護」され、前世代の人々が残した「衰退したもの」として考えられています。しかし実際は、遺産は姿を変えながら、文化という名前で生き続け、デジャヴーのように私たちの生活の場に現れています。

本イベントは、香港、台湾、インドネシア、タイのアーティストがパフォーマンスを披露し、それぞれ固有の文化背景を投影した演目を上演することで、生きている「遺産」を体感しつつ、それらを重要な意味を持つ文化として未来に残す手立てとなります。また、小豆島の中でも最も東端に位置し、山に包まれた小さな集落である福田地区が会場になることで、自然との関係や本質的な生き方を考え直すきっかけとなることを願っています。

開催概要

パフォーマンス イベントタイトル	日：デジャヴー—生きている遺産 英：Déjà vu – the Living Heritage
開催日時	2019年7月21日（日） 17：00～19：00（開場16：30）
入場料	前売り¥2,000 https://peatix.com/event/725264 （当日¥2,500、当日券は瀬戸内国際芸術祭2019作品鑑賞パスポートの提示で¥200割引、15歳以下無料）
会場	小豆島・福武ハウス（旧福田小学校）[香川県小豆郡小豆島町福田甲718-1]
主催	公益財団法人福武財団 瀬戸内国際芸術祭2019公式イベント

参加パートナー団体（4組織）



香港：香港アーツセンター



Cemeti Art House

インドネシア：チェメティ・アート・ハウス



台湾：台湾歴史資源經理学会



タイ：ジム・トンプソン・アートセンター

※イベント運営費用の一部は各組織独自の資金調達によって賄われています。

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 栗原・末廣

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011

E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <http://www.benesse-artsite.jp/>

パフォーマンス公演詳細

香港

古くは中国・北京から伝わった京劇が、言葉や衣装をその土地に合わせるように発展し、今では香港の大切な文化とされている広東オペラ。その成り立ちをまねて、小豆島の要素を取り入れた舞台美術を背景として、香港では慣れ親しまれているカンフーの動きを中心としたパフォーマンスを行います。言葉を越えた異文化の融合が新たな文化を築いていくことを感じさせます。

アーティスト：

Hugh Cho with TS Crew

Mandy Ka-yee Tam (衣装・舞台美術)



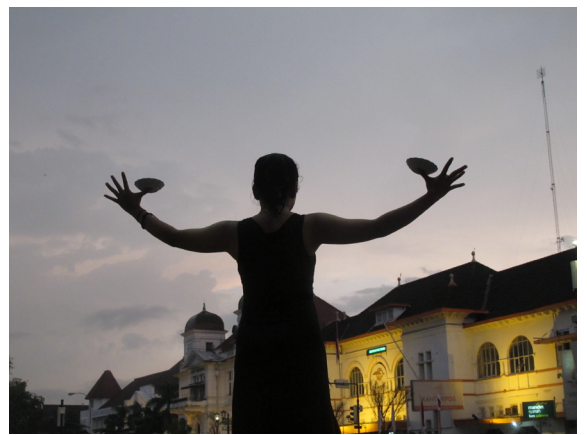
courtesy of the artist

インドネシア

社会構造の中に常に存在する「個と公の境界」という考えを、スマトラ島のセメンド (Semendo) 族に伝わる伝統的なクアダイダンスをモチーフに、コンテンポラリーダンスで表現。家族の最年長の娘に与えられる特権とその背景にある責任感という緊張を描きます。

アーティスト：

Ayu Permata Sari、Pebri Irawan



台湾

中国南部の海岸や島の人々は、1000年以上前に誕生したといわれ千里眼と順風耳を侍従とした航海の女神である“媽祖”を信仰しています。道教と呼ばれるこの信仰と、海の復権という瀬戸内国際芸術祭のテーマから着想された、火や光を使った踊りと尺八の演奏を組み合わせた演舞を行います。

アーティスト：

INFERNO



タイ

タイの北東部のイサーン地方の農村に伝わる音楽「モラム音楽」を才能あふれるバンドが奏でます。日本でも紹介されている明るく活気のある音楽は、出稼ぎの移民労働者によって広められ、イサーンの人々だけでなく、はるかに多くの聴衆を魅了しました。芸術や音楽といった文化は言語の境界を越えた共感を生むことで、複雑なグローバリゼーションに直面しながらも、何世紀にもわたって生き残っていくことができます。

アーティスト：

ALL THIDSA BAND



Photo credit: Jim Thompson Art Center

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <http://benesse-artsite.jp/contact/press/>

飲食等屋台出店(予定)

近隣の飲食店によるアジア料理、島の特産を使った料理、飲み物の提供を行います。

- ・ アジア食堂 (インドネシア料理、ドリンク)
- ・ アジアン食堂アチェチェ (タイ料理、ビール)
- ・ Cafe Rest サクラキ (ローストビーフ)
- ・ 菓舗ふじさわ (ドーナツ)
- ・ 東方美食 (台湾料理)
- ・ ねこトラキッチンどんぐり (香港料理)
- ・ ピザはるや (ピザ) 他

滞在スケジュール

会場となる地域を肌で感じ公演に生かすことを重要な要素として捉え、各チームが順次会場となる福田地域に入り、住民とWSなどを通じて交流を図りつつ、本番へ向けて準備しています。

- 6月19日～ 香港チーム (総勢18人)
- 7月11日～ 台湾チーム (総勢24人)
- 7月14日～ インドネシアチーム (総勢4人)
- 7月19日～ タイチーム (総勢16人)

福武ハウスーアジア・アート・プラットフォーム

福武ハウスでは、2013年の瀬戸内国際芸術祭から、小豆島のひとつの集落を通してアジア諸地域がつながるプロジェクト「アジア・アート・プラットフォーム」に取り組んでいます。

アジアの文化と多様な人々が交差するプラットフォームを目指し、各地域で活動する美術関係団体をパートナーとして、福武財団の資金に加え各々が個別に資金調達を行い作家やシェフを招聘し、アーティスト・イン・レジデンスや展覧会の開催、食のワークショップを小豆島町、福田地区自治連合会との協働で実施するなど、アジアの歴史や固有の文化を通じた実践とプレゼンテーションを行っています。

2019年は、プラットフォームづくりの次のステップとして、これまで関係を結んできたパートナー団体とともにパフォーマンスイベントを新たに企画します。異なる歴史や背景を持つ人たちが、一つの共通したテーマでパフォーマンスイベントを開催し、組織を超えて企画の取りまとめ、役割分担をするなど、体制を作ることで、交流の相乗効果が生まれることを目指していきます。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <http://benesse-artsite.jp/contact/press/>